

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和6年2月28日

事業所名：放課後等デイサービス ガーネットやまごえ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		○		指導訓練室のスペースは十分にあるが、多目的スペースで密になってしまうことがあり、声をかけて分散させている。	27	8			玄関と活動室が離れているため、中の様子があまり分からない。個別活動スペースと多目的スペースがもう少し離れていると、集中しやすいように感じる。	活動に応じた机等の配置、利用者に合わせたスペースの確保を適宜行う。
	2 職員の適切な配置	○			人員配置以上の配置ができており、利用者に合わせて職員を配置している。	30	5			言語聴覚士に常勤してほしい。	ニーズに合わせた専門職の配置も検討していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備		○		階段に手すりがついていないため、職員が手を添えるなどの対応を行っている。 スケジュールの掲示方法等、見通しを立てるための構造化を図っている。 クールダウンできるスペースが少ないため、確保したい。	30	3	1			利用者の入れ替わりにも合わせて、特性に応じた設備整備を見直ししていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			利用者の意見も聞き、生活空間の工夫を行っている。	30	4				
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画		○		職員MTG時に実施している。 MTGを欠席した職員にも参画してもらえよう、機会を設定していく。						全体MTGに参加できなかった職員に対しては、管理者による面談等で対応する。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○	第三者評価は実施していない。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保		○		常勤スタッフを中心に、事業所内研修、事業所外研修への参加を行っている。非常勤スタッフが参加できる機会も提案していく必要がある。						法人内で共有している研修に参加できる体制を整えていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供	1	○			利用者本人のニーズが必ず盛り込まれるよう、工夫している。聞き取りのみでなく、発達検査の読み込み、関係機関との連携により、アセスメントを強化したいと考えている。	31	4			
	2	○			個別活動の内容、集団活動時の配慮事項等を記載するようにしている。	30	4			
	3	○			子どもの状況に合わせて、個別活動、集団活動の配分等、工夫している。					
適切な支援の提供（続き）	4	○			支援に入る前に留意事項を確認し、利用者に関わっている。	39	5			
	5	○			保育士を中心に、職員全体の意見が反映できるよう活動プログラムの立案を行っている。					
	6	○			週替わりの活動や、休日のイベント設定等、様々な分野の活動を取り入れられるよう、工夫している。	32	3		いろいろと工夫いただいていると感じる。	
	7	○			休日、長期休暇時は、サービス提供時間が長いため、小集団でのイベントを取り入れている。					
	8	○			主に担当する利用者とその支援内容、余暇活動時の役割等、確認するようにしている。					
	9	○			支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化					全職員が発信しやすい雰囲気、環境作りを行っていく。
	10	○			担当職員により記録し、職員MTG時に検証を行っている。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
	11		○		保護者との面談日程調整ができておらず、遅れている事例があるため、早期に対応する。						モニタリング実施時期には早期に保護者と連絡を取り、対応する。
関係機関との連携	1	○			主に管理者、児童発達支援管理者が参画している。						
	2				該当なし						
関係機関との連携（続き）	3				該当なし						
	4		○		必要に応じて電話、学校主催のケース会等にて共有を行っている。						事業所からの共有、発信も積極的に行っていきたいと考えている。
	5		○		これまで移行事例がなかったが、今年に入り移行を検討する利用者が出ている。						近隣の事業所と連携を取り、地域全体で利用者に合った環境での支援提供を行いたい。移行する利用者については十分な情報提供を行う。
	6		○		動画教材などを活用している。						動画の視聴状況の確認はしているが、専門機関での研修についても受講を促進していく。
	7		○		児童館で活動する機会などを設けているが、回数が多くはない。	17	16	2			
8		○		行事の講師を依頼するなど、交流の機会を作っているが、回数が多くはない。							地域交流の機会について、検討を進めていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○			見学時に概要を説明し、契約・アセスメント時に詳細を説明している。	32	3			
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○			アセスメントの内容を参考に、活動プログラムの提案を行っている。	31	1	1		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○		保護者送迎時に助言をする等の対応は行っているが、トレーニングとしての機会は提供できていない。	9	20	5	自己肯定感の低い我が子への話し方、接し方、喧嘩の仲裁の仕方など、教えてもらいたい。	ペアレント・トレーニングについて、まずは職員内で学ぶ機会をつくり、実施を検討していく。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○			事業所のみでなく、学校、家庭での様子も聞き取りし、課題の整理を行っている。	31	3	1		
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○			保護者送迎時に積極的に対応するようにしている。	25	8	2		
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			○	保護者同士の連携支援は行えていない。感染症の流行が落ち着き次第、対応していきたい。	1	19	14	保護者同士の交流や情報交換の機会があると助かります。	保護者、ご兄弟参加型のイベントや、相談会の実施を検討する。来年度中に実施したい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○			ご意見等をいただいたい場合は、早急に対応し、職員間に共有している。	20	15		子どもからも親からも特に苦情は無いです。	
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○			口頭でのやりとりとならないよう、できるだけ文書で配布したり、メールを送って確認したりする対応をとっている。	32	3			
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○			請求ソフトの機能を使って、写真を掲載したり、月1回の広報配布にて発信したりしている。	32	2			
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	○			契約時に説明を行い、対応している。	35					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底		○		マニュアルを策定し、職員間での共有はできているが、保護者に認知していただけているか、確認できていない。	25	8	2		説明を受けたのかもしれませんが、あまり把握できていません。	入口にマニュアルを設置しているため、保護者への周知を行う。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施		○		定期的な訓練実施を行っているが、利用者、保護者に報告ができていない事例がある。	19	15			しているかもしれませんが、把握できていません。	利用者参加型の避難訓練については共有できているが、職員間で行った安全点検等も併せて共有していく。
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			外部に委託し研修を行っていたが、参加している。						
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		○		対応事例なし						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		○		対応事例なし						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底		○		ヒヤリハット事例集の作成は行っているが、まだ事例が少ない。						ちょっとしたことでもヒヤリハットとして共有し、事例集を作成する習慣をつけていく。